

研究会 「ズレから見つかるダイジなこと《前編》」

～国連勧告と日本の‘インクルーシブ教育システム’の対比～

昨年度、「障害児の生活と共育を考える研究部会」では、『「共に生きる教育」宣言』の読書会を3回実施し、〈インクルーシブ教育〉とは何かについて学び合いを深めていきました。また、昨年8月には国連障害者権利委員会から日本政府に対して数々の勧告が出され、〈インクルーシブ教育〉の分野でも厳しい指摘がありました。しかし、日本政府からこれまでの路線を変えていく意思は示されていません。

今回の研究会のチューターは、一木玲子さん（東洋大学客員研究員）です。国連で謳われている〈インクルーシブ教育〉と日本政府が掲げている‘インクルーシブ教育システム’のギャップを整理し、国際的な潮流や日本の現状を押さえていくことで、今後の展開について具体的に提起していく糸口を見出していきたいと考えています。どなたでも参加できるフラットな研究会です。皆さま、リラックスしてご参加ください！

日 時 ; 6月3日(土) 19時～21時 (入室 18時50分～)

場 所 ; オンライン (Zoom)

特集:インクルーシブ教育への議論をひろげよう

参加費 ; 会員→無料 非会員→1,000円 (機関誌『はらっば』2023年3月号+送料)

*今回の申し込み期限までに子ども情報研究センターへ入会された場合、参加費は無料です。

(個人正会員→年間10,000円 / 個人賛助会員→年間3,000円) ※詳細はHPを参照

*参加費の納入方法は、お申し込みを受けて個別に連絡いたします。

*定員30名。先着順受付。参加申し込み期限 5月29日(月)まで。

*当日のZoomのURLは、前日までにメールにて連絡いたします。

【お申し込み・お問い合わせ】公益社団法人 子ども情報研究センター

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37 HRCビル 5階

TEL ; 06-4708-7087 / FAX ; 06-4394-8501

メールアドレス kenshu@kojoken.jp (事務局)

※メールでのお申込→件名「6/3研究会 参加申込」本文にお名前・メールアドレス・所属等・

非会員の方はご住所(送付先)を記載してください(入会をご希望の方はその旨も)。

※メール以外でお申し込みの場合も、メールアドレスはお知らせください (Zoom情報の送信用)。

